

幼児教育学科

科目名: 造形表現演習			担当教員 氏名: 岡野 宏宣		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次 後期	専門科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのよ 臨床美術士、中・高美術教員の経験から、保育者として子どもの表現に共感する力や、子どもと造形活動を行うための工夫する力を身に付けることを目的とした授業を行っている。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
子どもとの造形表現活動を企画、立案、実施する中で得られる子どもの「造形表現活動」でしか得られない体験と成長の姿を振り返り、活動場面を分析し学んだ内容を整理・記録する。そのなかで、子どもの理解を深め、より良い活動内容や環境の設定、保育士・幼稚園教諭としての援助・留意点を考察する。					・子どもの造形表現活動 ・活動実践 ・造形表現行為についての整理・記録
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 7. 8. 9.	
A 知識・理解力	保育・教育の場や機会における造形表現活動の意義や内容について理解することが出来る。				
B 専門的技術	保育・教育の場や機会にかかわる者としての造形表現活動に関する技術を習得する。				
C 論理的思考力	保育・教育の場や機会にかかわる者として、子どもの造形表現活動に関する意義や内容、援助・留意点などについて理解し、実践した内容を整理・記録することができる。				
D 問題解決力	保育・教育における造形表現活動に関する意義や内容、援助・留意点などについて理解し、自ら活動計画を立て、実践することができる。				
H コミュニケーション力	造形表現活動に取り組むなかで、自己・他者・子どもを理解し、コミュニケーションを育むことができる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 0 %	レポート: 40 %	発表: 0 %	実技試験: 0 %	その他: 60 %	
特記事項: 『レポート(40%)』は、各活動後の学びをまとめたレポートである。『その他(60%)』は、過程の取り組み・態度である。本科目ではアクティブ・ラーニングの一環としてグループによる制作活動を取り入れ、保育所などでの子どもたちと造形活動を行うことを想定し授業を行っている。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: ⑧回目、⑭回目の授業後、活動の記録のミニレポートを作成し、⑮回目の授業終了後、レポートを作成を課す。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: ミニレポート、レポートの提出に対して、口頭及びコメントを添えてフィードバックする。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①ガイダンス(「造形表現演習」の概略の理解)					
②子どもの興味・関心を引き出すきっかけ(保育者の意識的な関わり)についての考察			【復習】事例を調べる	60分	
③子どもの興味・関心を知る(保育園等で子どもの観察) I			【復習】記録のまとめ	60分	
④子どもの興味・関心を刺激するきっかけ(保育者の意識的な関わり)を考える I			【復習】材料道具を準備する	60分	
⑤きっかけを提示し子どもの興味・関心を造形活動へつなげる関わりを実践する I			【復習】記録のまとめ	60分	
⑥子どもの興味・関心を元にした造形活動案を考える I			【復習】材料・道具の準備	180分	
⑦子ども達と造形表現活動の実践 I			【復習】実践後の記録のまとめ	60分	
⑧子どもと造形活動実践後の振り返り I			【復習】ミニレポートの作成	120分	
⑨子どもの興味・関心を知る(保育園等で子どもの観察) II			【復習】記録のまとめ	60分	
⑩子どもの興味・関心を刺激するきっかけ(保育者の意識的な関わり)を考える II			【復習】材料道具を準備する	60分	
⑪きっかけを提示し子どもの興味・関心を造形活動へつなげる関わりを実践する II			【復習】記録のまとめ	60分	
⑫子どもの興味・関心を元にした造形活動案を考える II			【復習】材料・道具の準備	180分	
⑬子ども達と造形表現活動の実践 II			【復習】実践後の記録のまとめ	60分	
⑭子どもと造形活動実践後の振り返り II			【復習】ミニレポートの作成	120分	
⑮子どもが主体的に造形表現活動へ取り組むための保育者の関わりについて・まとめ			【復習】レポートの作成	180分	
使用テキスト: 必要に応じて資料を提供します。			その他参考文献など: 適時紹介します。 造形表現活動に関する文献を多く読むこと。		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):					